

ダイナミックレジン JDE-962

ダイナミックレジン JDE-962

エポキシ樹脂の特性と水硬性フィラーの特長を最大限に活かした常温硬化三成分型素地調整材です。

用途

- 上下水道施設コンクリート構造物の防食工法用素地調整
- 一般コンクリート構造物の素地調整

特長

- 1) エポキシ樹脂特有の安定した強度が保持されます。
- 2) コンクリートに対する付着性が高く、コンクリート躯体との一体化が図れます。
- 3) コテ塗り作業性に優れます。
- 4) 乾燥したコンクリート面だけではなく湿潤状態のコンクリート面に対しても優れた接着性を示します。

一般性状

	A(主剤)	B(硬化剤)	C(骨材)
外観	淡黄色液状	淡褐色液状	灰色粉体
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	ポルトランドセメント

配合比

A(主剤) : B(硬化剤) : C(骨材) = 1 : 3 : 8

使用可能温度

最低気温 5℃以上

最高気温 35℃以下

荷姿

24kgセット
 A(主剤) : 2kg
 B(硬化剤) : 6kg
 C(骨材) : 16kg



硬化性 (目安)

	10℃	20℃	30℃
可使用時間	2.5 時間	70 分	30 分
塗膜硬化性 *)			
初期硬化	13 時間	6 時間	3 時間
完全硬化	10 日	7 日	5 日

*) コンクリート板に1mm厚にて塗布

物性値 コンクリートとの付着強さN/mm²

	測定値	試験方法
標準状態	3.6 下地コンクリート材破	JIS A6916
吸水状態	3.8 下地コンクリート材破	

上記データは代表値であり、保証値ではありません

標準使用方法

- JDE-962A(主剤)、B(硬化剤)を重量比1:3で計量し、攪拌機を用いて十分に混合した後、さらに、A(主剤)とB(硬化剤)の混合液1に対して2倍量のC(骨材)を計量し、攪拌機を用いて十分に混合する。
- 十分に混合したJDE-962を金ゴテ、ゴムゴテ等の適切な施工用具で施工面全面に0.5～2.0kg/m²塗布してください。
但し、下地の樹脂吸い込みが激しい場合は多目に塗布することが好ましい。
※ 下地の凹凸状態によって使用量は変動します。
- ピンホールの発生を抑え切れない時は1回目のJDE-962塗膜を乾燥させた後にJDE-962を再度塗布してください。(23℃での再塗布時間の目安：1時間)
- 出隅、入り隅部分は塗膜が薄くなり、ピンホールが発生し易いので注意してください。
- 次工程の塗り重ねは塗布後15時間から7日以内に行ってください。なお、高湿度状態では硬化が遅くなりますので送風機等を使用して施工場所内の風を循環させる等の対策を実施してください。

法規制

消防法

	A(主剤)	B(硬化剤)	C(骨材)
取り扱い	火気厳禁		水濡れ厳禁
消防法	第4類 第3石油類	非危険物	非危険物
危険等級	Ⅲ	該当しない	該当しない
指定数量	2,000L	—	—

注意

1-1 作業前の確認

取扱作業に際しては、説明書、安全データシート(SDS)などで、注意事項を確認して下さい。

1-2 取扱い場所

- 火気のあるところでは、使用しないで下さい。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

1-3 取扱い方法

- 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
- 容器からこぼれた場合には、布(ウェス)で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。

1-4 応急措置

- 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。
- 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

1-5 保管方法

- 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合には、火気のない5～35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。

1-6 素地調整以外の使用禁止

- 本来の用途以外には、使用しないで下さい。

1-7 廃棄方法

- 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
- 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

記載の内容やデータは、当社の試験研究および調査によるもので、十分信頼しえるものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。また、使用目的、使用条件により相違する場合がありますのであらかじめご需要家各位で試験等のご確認をお願いいたします。

- 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。(後日に発見された場合は、責を負いかねます。)
- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。● 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

業務用



ISO 9001 認証取得 JQA-2019
ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513
OHSAS18001 適合 JQA-OH0017

アイカ工業株式会社

化成系カンパニー

ホームページアドレス

<http://www.aica.co.jp/>



■代理店

札幌 ☎(011)811-9201 FAX(011)812-2968	新潟 ☎(025)245-8596 FAX(025)245-8597	四国 ☎(087)851-9588 FAX(087)851-9592
仙台 ☎(022)232-3251 FAX(022)235-1067	松本 ☎(0263)33-1321 FAX(0263)33-1325	福岡 ☎(092)474-1190 FAX(092)474-1282
盛岡 ☎(019)653-5591 FAX(019)653-5419	名古屋 ☎(052)757-1053 FAX(052)757-1058	鹿児島 ☎(099)226-7511 FAX(099)226-7515
福島 ☎(0248)62-1420 FAX(0248)62-1422	静岡 ☎(054)286-0451 FAX(054)286-0453	沖縄 ☎(098)868-6367 FAX(098)868-6372
東京 ☎(03)5912-2841 FAX(03)5912-2847	大津 ☎(076)222-9600 FAX(076)222-9608	
横浜 ☎(045)640-1081 FAX(045)640-1087	大阪 ☎(06)6265-6813 FAX(06)6265-6814	
埼玉 ☎(048)601-2191 FAX(048)601-2190	神戸 ☎(078)222-6341 FAX(078)222-6326	東京ショールーム ☎(03)6770-2012
千葉 ☎(043)241-2181 FAX(043)241-2185	京都 ☎(075)284-0770 FAX(075)284-0771	名古屋ショールーム ☎(052)757-1056
宇都宮 ☎(028)346-1750 FAX(028)346-1752	広島 ☎(082)254-1311 FAX(082)255-8817	大阪ショールーム ☎(06)6265-6828
北関東 ☎(027)322-8771 FAX(027)327-2271	岡山 ☎(086)243-1327 FAX(086)243-7508	福岡ショールーム ☎(092)474-1164

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページまたはFAXにて

● 商品のお問い合わせ先

ホームページ：www.aica.co.jp

FAX (052)409-1526

アイカカタログセンター
TEL (052) 409-1471

アイカ問合せセンター

☎ (0120)525-100

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

TEL (052)409-8313 FAX (052)409-1482

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店の営業日は、月～金(除く土日祝日)です。ホームページからの当日出荷ご依頼の受付時間は14:00(FAXの場合は12:00)です。

D142A 18.03.2S.SG